



工学プロジェクト（学内企業実習）

通常のインターンシップと違い、企業の方が大学に出向き、学生が1日社員としてグループワークを行います。企業から与えられた課題を学科・学年混在の少人数グループで解決し、社会に出た後も活躍し続けられるための能力を身に付けることを目的とします。学生はポートフォリオに振り返りシートをアップロードすることで、実施前と実施後でどのように意識が変わったかをいつでも振り返ることができます。

実施日時：2012年9月12日(水) 1限～5限
参加者：59名

	機械	情報	環境	建築	学年計
1年生	2	9	3	3	17
2年生	1		4	3	8
3年生	7	5	15	4	31
4年生		3			3
学科計	10	17	22	10	59

参加企業とグループ編成(学科・学年混在)：

- ①佐藤食品工業株式会社 15名
グループ1～3(5名、6名、4名)
- ②株式会社阿部建設 14名
グループ4～6(6名、4名、4名)
- ③三幸製菓株式会社 14名
グループ7～9(4名、6名、4名)
- ④株式会社タカヨシ 16名
グループ10～12(5名、6名、5名)

スケジュール： 9:00 開会・全体会
9:10 企業紹介
9:35 グループワークⅠ～Ⅲ(課題説明、課題検討、まとめ、発表準備)
15:50 全体会(成果発表、講評、感想)
17:20 記念撮影
17:30 閉会

①佐藤食品工業株式会社コース 「新しいニースの包装餅の提案」

普段食べることの少ない餅という食品をいかに食べてもらうためにはどうしたら良いかを考え、食べ方の提案、パッケージの提案、形の提案などを行いました。実際に販売している餅にはどのような種類があるのか、味や食感にはどのような違いがあるのかなども考慮に入れ検討しました。



②株式会社阿部建設コース 「眠っている能力を覚醒する『ブランディング』」

企業が顧客にとって価値あるブランドを創り上げるための活動として、どのようなことを行うべきかを考えました。他社との製品の違いのアピールや、どの層(年代、性別)に向けてアピールするのか、広報手段としてWEB、紙、モデルハウスなどをどう活用するのかなどを検討しました。



③三幸製菓株式会社コース 「スーパーへの新商品・売り場レイアウトの提案」

スーパーに、今秋発売する新商品を提案するにはどうすれば良いかを考えました。既に販売している製品と金額、製品ジャンルごとの販売数、商品を購入している年齢層、売り場の商品配置による販売数の増減などを考慮し、新たな売り場レイアウトを検討しました。



④株式会社タカヨシコース 「新潟工科大学の魅力を高校生に伝えよう」

新潟工科大学の魅力を高校生に伝え、より多くの高校生に大学を受験してもらうためにはどうすれば良いかを考え、大学紹介パンフレットの作成を行いました。



学科専任教員から：

「初対面の人とコミュニケーションをとり、自分の意見をどう相手に納得させるか、また、優れた他人の意見を吸収して自分の意見をさらに高めていくにはどうしたらよいか、といった経験を積んだ。今回工学プロジェクトに参加した学生は、参加していない学生に比べて、明確なアドバンテージを持つことができた。」

- 学生の感想：
- ・「今回やって自分に力がないな～と痛感できたことがよかった。」
 - ・「自分の意見を出し合う積極性や出し合った意見をまとめるリーダーシップ。良い意見でもまとめなければ意味がない。それを形にしてプレゼンするという行動力。これらがなければ出された課題を解決するのはできないと感じた。」
 - ・「皆で協力して一つのモノをつくることができたのでよかった。」